

# 事故報告書

アクティビティ	ジップライン	日付	2022/08/20	天候	雨
時間	11:30~12:00	グループ人数	12	担当ガイド	中島
怪我をした人	おとな女性	連絡先			
保護者名					
状況	ペアラインの隊長役の際、逆走しそうな子どもの救助作業中				
症状	ぎっくり腰				
発生場所	ペアラインの隊長位置				

## 事故発生状況

No.7・8のペアラインにて隊長役として飛んでくる方を逆走しないように補助する作業の際に、腰が反り返り痛めた。当日は雨が降っており、足元が滑りやすかった。

## 事故後のメールのやり取り

<メール1>

今回連絡させて頂いたのは、3グループの最終的な隊長？を急をお願いされて、小さな他人のお子様達の、逆走を防ぐために指名されて流れで断りきれず引き受けた形になってしまいました。やはり、言われたとおり小さな子は逆走しそうになりそうになり、命に責任感を感じ必死で足場悪い中頑張っで全力でやり遂げましたが、その時に腰が反り返りぎっくりになってしまったみたいです。それからいま現在も痛すぎて自分の仕事にも支障が出ています。あの私が任された隊長の任務は、本当は誓約書とか交わすぐらいの内容の命に関わる任務だったのではないかと思います。スタッフでやるべきとても重要な命に関わる任務を突然口頭でお願いされて、流れで断らなかった事を心から後悔しています。それくらい腰が痛くてどうしたらいいのか連絡しました。

<メール2>

ご連絡ありがとうございます。安静にしていれば、治ってくるとおもっていたのですが、今日、あまりにも痛く痺れも出てきたことから午後に有給を取って病院に行ってきました。詳しい事は、MRIを撮ってという事で、そのクリニックでは出来ないの、予約して行かねばならず、しばらく通院することとなるのは確実で、そのために有給を取らねばならないこと、痛みで日常、仕事にも支障が出てきています。賠償責任を負っていただきたいです。どのように対応して頂けますか？

## 発生後の対応

お電話したところ「仕事が忙しいのでメールで返信してほしい。」とのことで詳細は伺えなかった。こちらでもメールで何度か返信し、「医療機関にかかられるようでしたら、ジップラインの傷害保険の範囲内にて対応させていただきます。」とお伝えした。賠償責任を求めておられるようだが、中部スノーアイアンス側との相談の中では「賠償を負う必要はない」と判断し、傷害保険の範囲内での対応を検討している。「ジップラインで加入している傷害保険での対応を進めさせていただきます。当施設契約の保険会社よりご連絡させていただきますので、ひとまず保険会社からの連絡をお待ちください。どうぞお大事になさってください。」という返信にて、この後は保険会社での対応に切り替えた。

## 改善へ向けて

- No.7・8ランディングが急斜面のため、雨の日などは滑りやすい。隊長の待機位置付近に階段を作るなどして足元の状況を改善したい。
- ペアラインでは他グループのお子様の救助までお願いする場面があり、隊長の負担が大きくなる場面があった。ガイドからの伝達の仕方を改善すべく、下記の内容をガイド内で情報共有した。

【No.7・8での隊長役について】

ご自分のグループの方はグループ内の隊長が助ける！というのが基本スタンス。別の方が隊長をしてくれる時でも、自グループの子どもの救助や補助はあくまで自グループ内でやりましょう！という方向でお客様に伝える。

ペアの組み合わせの関係でやむなく他グループの方に隊長をお願いする場合には ...

他グループの隊長をお願いするのは 2点。

- ①逆走防止のための補助。
- ②OKの合図

※装具取り外しの補助や逆走を助けに行くのは自グループの隊長や大人がなるべくやる。手伝いに行く。

逆走＝危険、ではない。逆走はして欲しくないが、もし逆走してしまってもワイヤーを触らなければ安全上の問題は無い。冷静に救助棒で救助に行ってくれば大丈夫、というスタンスで説明する。むしろ、助けに行く隊長さんの方が大変だから足元に気をつけて！

受傷者からのメール